

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（店長）	・航空便の国際線の増便など、観光客増加要因が多い。
	◎	コンビニ（副店長）	・来月から9月にかけてクルーズ船、特にアジア圏からの寄港回数の増加、梅雨明け、長期の休み期間で人流が大幅に上がる見込みなので販売数、来客数共に大いに期待できる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されており、3か月後は少しだけ期待はできるかなとみている。しかしそれもまだ部分的であり、大半は厳しい状況が続くとみている。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・観光客も今後も増えていくとみるが、また新型コロナウイルスの新規感染者数も増えていくので、65歳以上、基礎疾患、医療従事者のみのワクチン接種ではなくワクチン接種希望者は安い金額でどこかの医療関係でも打てるようにしてほしい。それによって人材確保もできるとみている。
	○	百貨店（経営担当）	・国内需要は節約志向が続くものの、インバウンド需要は微増ながらも回復傾向が予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・夏休みでイベントや行楽が活発になってくるため飲料水やアイスクリーム、ファーストフードの売上が期待できる。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が徐々に増加しているが、県内景気に大きな影響はないと考える。今年度の夏休みにかけては前年より観光客が見込め、景気は今の状況よりやや良くなると考える。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・秋口の宿泊部門の予約も徐々に動いている。料飲部門はまだ動いていない。
	○	通信会社（営業担当）	・新料金プランが出たことによる来客数の増加と新商品発売により市場が活性化することを期待している。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は新型コロナウイルス感染症発生前の水準まで回復している。特に個人の動きが良く、Web販売が好調に推移している。
	○	住宅販売会社（役員）	・物価の上昇懸念は拭えないが法人個人問わず県外からの来客数が増えつつあるため、期待できる。
	□	一般小売店〔菓子〕（企画）	・今沖縄で新型コロナウイルス感染症感染者数もまた段々と増えてきていて、それが大変心配である。景気は変わらないと回答はしているが、新型コロナウイルス感染症の様子をちゃんと見ないと分からない。
	□	スーパー（企画担当）	・3か月先は、旧盆商戦後と夏休み明けで、入城観光客数の増加は一旦落ち着くと考えると、景気は現在と変わらないと見込まれる。
	□	スーパー（販売企画）	・沖縄では新型コロナウイルス感染が第9波に入った可能性があるという報道があり、来客数減少につながらないか懸念されるが、現状では来客数に変化を感じないため2～3か月先も変わらないのではないかと考えられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・前月の良い流れのまま今月も良くなっていくと期待していたが、2週目以降その流れが悪くなってきている。景気は今のところまだどうなるのか様子見である。
	□	家電量販店（営業担当）	・現状の流れが大きく変わることは、想像できない。外国人観光客数増加の効果も、予想ほど伸びてこない。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・販売量が維持できる見込みである。
	□	乗用車販売店（営業担当）	・新車製造の部品不足により納期遅延が今後も続くため、厳しい状況は変わらない。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	・このままでいけば夏の間は観光客も増え、陶器の需要は変わらない。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・全国旅行支援もほぼ終了し、個人消費は旅行代金の高騰もあり伸び悩んでくる。
□	住宅販売会社（代表取締役）	・繰越しの手持ち工事はあるものの、今後は工事受注が厳しくなることが予想される。	
▲	衣料品専門店（経営者）	・円安からの物価高、燃料費の高騰というような状況のなかで、身の回りで実質的な賃金が上がったという人の話は聞いたことがない。そのため実感として景気が上向くとは考えられない。	
▲	一般レストラン（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、皆警戒している。	

	▲	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	・観光客はどんどん増えて、地元客も動いてきているが、求人数が厳しい上に、人件費は暴騰し、仕入原価もどんどん上がっている。客単価を上げるにも限度がある。
	×	観光型ホテル (企画担当)	・ホテルの6月の販売室数が前年比105%増加とプラスなのに対し、6月末時点での9月の予約室数は前年比4%減少で、マイナスに転じている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	食料品製造業 (役員)	・お中元ギフトシーズンでもあり、当県のトップシーズンでもある8月に向けて更にはぎやかになりそうだが、一方で県内の新型コロナウイルスの新規感染者数急増による影響も懸念される。
	○	窯業土石業 (取締役)	・売上に大きな変化はないが一定程度の価格転嫁により、若干の収益回復が予想される。
	○	輸送業 (経営企画室)	・2025年度までに大型の物流施設の建設予定が3件、会員制大型スーパーの開店など大きな雇用を創出する案件が増えている。
	□	建設業 (経営者)	・高額な土地活用のアパート建築の引き合い件数が少ない。
	□	広告代理店 (営業担当)	・県内企業の販売促進活動は、様々な経費が高騰する影響を受けて、実行予算を削減する傾向が強くなり、積極的に攻めていく姿勢が薄れている。
	□	会計事務所 (所長)	・物価高の状況が続くので、し好みなど高付加価値商材の流通は一部の階層に限定的である。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (経営者)	・経済全体が動き出し、人材についても求職、求人共に活発になっている。
	○	職業安定所 (職員)	・ここ最近の求人について、賃金を上げている企業が多くなっている。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が急速に進んでいるため、今後の景気に影響が出てきそうである。
	□	求人情報誌製作会社 (営業)	・直近の来月、再来月では急激な求人数の増加は見込めないが、9月以降の秋口から増加すると予測している。新型コロナウイルス感染症発生以前のような、定期的な求人数の増加減の周期に戻りつつある状態である。
	□	学校 [専門学校] (就職担当)	・新卒求人が落ち着いてきている状況であるため、現在と大きな変化はないと見込んでいる。ただし、10月以降は次々年度に向けた採用に依頼も出てくるため、また状況は回復するものとみられる。
	□	学校 [大学] (就職支援担当)	・物価高騰により消費行動を抑える傾向はしばらく続く。
	▲	—	—
×	—	—	